



平成26年 5 月 14 日

各位

会社名 株式会社ディー・ディー・エス
代表者名 代表取締役社長 三吉野 健滋
(東証マザーズ・コード番号：3782)
問合せ先 取締役管理担当 貞方 渉
電話番号 052-955-5720
(URL <http://www.dds.co.jp>)

「継続企業の前提に関する注記」の記載解消に関するお知らせ

当社は、本日発表の平成26年12月期第1四半期決算短信において、「継続企業の前提に関する注記」の記載を解消することといたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

当社グループは、過去継続した営業損失及び当期純損失を計上してきており、また前連結会計年度末の手元資金（現金及び預金）残高427,197千円は、想定される年間必要資金及び借入金総額677,940千円に比して財務健全性の観点から不足する金額でした。このことから、当社グループは前連結会計年度末において、継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められるとして、「継続企業の前提に関する事項」を注記記載しておりました。

この状況への対応策の一つとして当社グループは、平成25年9月3日に第三者割当による新株予約権を発行し、前連結会計年度においては当該新株予約権の発行およびその行使により800,625千円を調達しておりました。当第1四半期連結会計期間においては15,700千円を調達し、さらに当第1四半期連結会計期間末以降、平成26年4月末までに全残存予約権行使により1,161,800千円を調達いたしました。

これらの結果として、財務体質については大幅な改善を実現し、平成26年4月末時点で実質無借金となりました。

一方で当第1四半期連結会計期間の業績は、引き続き営業損失を計上している状況であり、収益性の向上については改善途上の段階であり、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が依然として存在していると判断しております。

ただし、重要な不確実性は認められないため「継続企業の前提に関する事項」の注記記載を解消することといたしました。

株主様をはじめとする関係者の皆様には大変ご心配をおかけしましたが、当社は今後もさらなる業績の向上および企業価値の増大に努めてまいります。引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

以上